



復興まちづくり協議会・地権者連絡会 ニュースレター

復興まちづくり協議会・地権者連絡会を開催しました

開催日	平成30年1月26日（金）	
時間	18：30～20：05	
場所	釜石・大槌地域産業育成センター	
参加人数	27人	
議題	1. 今後の工事及び宅地引渡しスケジュールについて 2. 町界町名変更について (1) 第1回住民アンケートについて (2) 第1回住民アンケート結果について (3) 第2回住民アンケートについて (4) 第2回住民アンケート結果について (5) 町界町名変更案について	(6) 町界町名変更のスケジュールについて (7) 住所について (8) 住所変更の手続きについて 5. 土地区画整理事業の換地処分に向けて（今後の流れ） 6. 地区計画の策定について 7. 平田埋立地の用途地域の変更について 8. 意見交換



当日は、これらの議題について担当より説明いたしました。出席された皆様から、災害危険区域内の準工業地域への用途変更、町界町名の変更、平田地区の将来人口、狭隘な生活道路の改善、低い高さの法面の土砂流出対策について様々な御意見、御質問をいただきました。

議題の概要

町界町名変更について

第1回住民アンケート

■ 町界町名変更の素案を作成するため住民アンケートを次のとおり実施しました。

- 1 調査目的
町界町名変更の素案の作成にあたり、住民のみなさまの広く自由なご意見をあつめるため実施
- 2 調査対象
平田地区 住民・地権者及び事業者
- 3 調査期間
平成29年10月11日（水）～30日（月）
- 4 調査の方法及び回答状況
郵送による配布及び回収

配布数	回答数	回答率
623件	98件	15.7%

第2回住民アンケート

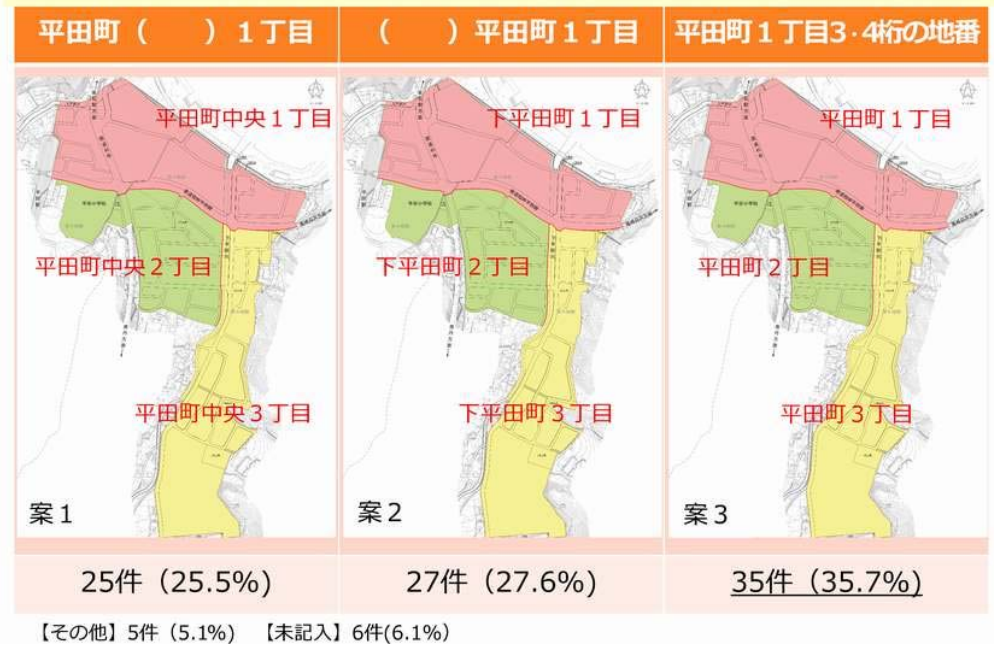
■ 町界町名変更案を作成するため、2回目の住民アンケートを次のとおり実施しました。

- 1 調査目的
町界町名変更の案の作成にあたり、第1回住民アンケートに基づき作成した町名案の素案に対する意見を確認するため実施
- 2 調査対象
平田地区 住民・地権者及び事業者
- 3 調査期間
平成29年11月30日（木）～12月8日（金）
- 4 調査の内容
新町名の素案（3案）及び町界変更案（2案）に対しどちらの素案が適当か選択
- 5 調査の方法
郵送による配布及び回収

配布数	回答数	回答率
623件	108件	17.3%

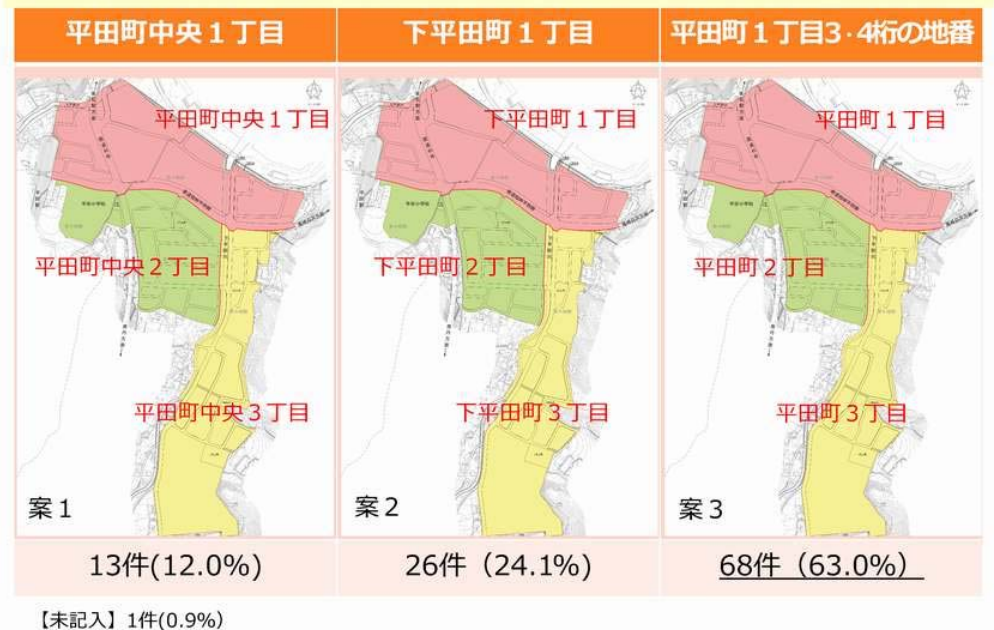
第1回住民アンケート結果①

■ 新町名について、次の3案からどの方法が良いか質問しました。



第2回住民アンケート結果①

■ 新町名について、次の3案からどの方法が良いか質問しました。



第2回住民アンケート結果②

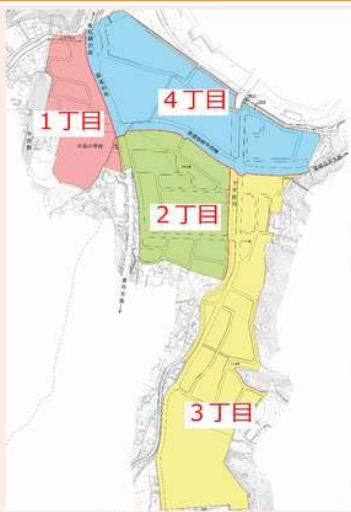
■ 町界変更について、次の2案からどの方法が良いか質問しました。

3分割案



61件 (56.5%)

4分割案



44件 (40.7%)

【未記入】3件 (2.8%)

町界町名変更案について

- 住民アンケートの結果、新町名案として「平田町1丁目 3・4桁の地番」の案を回答者の約6割が選択しました。
- また、町界案として区域内を「3分割案」を回答者の約6割が選択しました。
- その結果に基づき、次の案を「町界町名変更の議案」として市議会に提出します。

町界町名変更案

- 町の区域は3つの町に分割する。
 - 「平田町」と「丁目」で表記する。
 - ・平田町1丁目～3丁目
- ※登記簿上の丁目の数字は漢数字になります。
- 地番は、従来の町名の地番と重複しないよう街区ごとに100番単位で設定する。
 - ・地番の例
101番、102番… 201番、202番、
1001番…1102番…2202番…

表示の例

平田町1丁目 123番地
平田町2丁目 1234番地



このような御意見をいただきました

- 土地区画整理事業区域内の災害危険区域の地盤の高さ、平田埋立地の準工業地域の地盤の高さは、海拔何メートルなのか？

災害危険区域の中の地盤高さは、海拔2mから3mです。準工業地域の地盤高さは箇所により異なりますが、だいたい海拔4mから6.5mくらいになっています。また、釜石・大槌地域産業育成センターのほうに来るに従ってだんだんと高くなり、育成センターのところで6.6m、岩手大学のほうまで下がりますと、海拔4.4mになっております。

- 準工業地域への変更では、ホテルの他に住宅も建てられる。災害危険区域に土地を持った人間からすれば、ちょっと不公平だと感じる。準工業地域だから何でも建てられるというのは、果たしていかなるものか。検討してもらいたい。

このエリアでは、災害危険区域第2種により、住宅の地盤面の高さや建物構造に制限をかける予定です。確かに、準工業地域では、商業その他の立地が可能になりますが、大学の立地の充実を図るために、準工業地域に変更させていただきたいと思っております。また、現状で周辺に工場が立地しているため、調和のためには他の用途制限の方法は難しく、現状では準工業地域への変更案しかないと考えております。

- 町名は、アンケート回答で一番多い案を、6月議会に提案するという理解でよいか。土地区画整理区域外も含め、平田全体で町名変更をしてもらいたかった。また、区画整理区域内だけの変更であれば、上平田や、尾崎白浜、佐須なども含めて整合性がとれる町名を考えるべきではないか。さらに、現在の平田第1地割などの場合、何を基準として番号を付けているのか？

ご質問のとおり、回答が一番多い案により、進めてまいりたいということでございます。

平田町全体の町名変更を考えた場合は、区画整理区域内が平田町1丁目、2丁目になると、将来はどうなるのかとなるのは確かですけれども、今回は、土地区画整理事業の復興事業を完了させ、皆様に土地をお返ししなければいけないため、いただいた皆様のご意見の結果で進めさせていただきたいと考えております。

地割の順番の考え方は、上平田川の上流のほうから1地割、2地割などとなっております。また、丁目の順番は、鶴住居地区などもそうですが、別のルールに基づきまして、釜石駅から近いほうからの順番という形になります。

- 平田町2丁目となる予定の地域に住んでいるが、道路を挟んだ区域外のほうは、今までどおり、平田第5地割のままとなるのか？

区画整理区域外ですので、今までどおり平田第5地割で、これまでの住所及び地番のままとなります。

- 復興都市一部見直し特別法という法律があるそうだが、現在、救急車や消防車が入れない狭い道路があるので、復興事業以降に道路の整備ができるのであれば、検討してほしい。

ごへい商店から入った道路が狭いというお話は、今までにいただいておりました。町内会から地域の課題としてあげていただいて、検討させていただきたいと思っております。法律についても勉強させていただきます。

- 家が建っていない空き地で、土地の高低差が30cm未満のところは、法面を叩いて固めている。崩れていないところもあるが、雨で流されて土が側溝に入ってくる箇所もある。新たな災害の発生を抑えるため、気をつけてほしい。

土地の高低差が30cm以上の場合は、擁壁を設置していますが、30cm未満の箇所は土羽で叩いており、大雨時に崩れるところもございます。引渡し後の空き地の場合は、申し訳ございませんが、地権者の方々に対応されるようお願いいたします。土砂で詰まった側溝については、市が側溝の清掃をし、道路上への土砂流出についても清掃をするなど、責任をもって対応いたします。

復興事業については、可能な限り皆様の期待に応えられるよう進めていきたいと考えております。1日も早い工事の完成に向け、今後も全力で取り組んでまいりますので、皆様の御理解と御協力をよろしくお願いいたします。



復興計画の事業進捗等については、「広報かまいし」や市のホームページでも公開しております。併せて御覧ください。

■ 協議会等に関するお問い合わせ
釜石市復興推進本部
TEL: 0193-27-8479
FAX: 0193-22-2686